

「総合的な学習の時間」 職業講話を実施しました



2015 May
16

5月16日(土)の「総合的な学習の時間」に、1年生を対象とした「職業講話」を実施しました。「総合的な学習の時間」では「大学入学希望者学力評価テスト(仮称)」を乗り越え、社会人として活躍するために「教科を越えた思考力・判断力・表現力」を磨いていくことを目標としています。

今回の「職業講話」では、校外から4名の講師をお招きして、職業観や社会で求められる資質や能力についてお話ししていただきました。講話の後には、講師の先生方より「生徒の聞く姿勢や真剣な眼差しが良い。」「将来の日本を背負う中学生を相手に話ができて楽しかった。」などのお言葉をいただきました。

今後は、10月の文化発表会に向けて、希望したテーマについて班毎に研究していく予定です。

「自然界と看護」

宮崎県立看護大学: おこう かずとし 小河一敏先生



「国際協力の現場は楽しい」

宮崎県海外協力会(MOCA): のべ たかし 野邊 節先生



「挨拶から始まる素敵な関係」

ホテルマリックス: ひだか あきえ 日高昭江先生



「新聞社の職業観」

宮崎日日新聞社: てらはら たつや 寺原達也先生





2015 May
17

新聞掲載

宮崎日日新聞(5月17日掲載)

5月16日(土)に実施した「職業講話」が5月17日(日)発行の宮崎日日新聞に掲載されました。

宮崎日日新聞社様が学校の授業に記者を派遣する「出前授業・学校に宮日がやってくる」にて、同社読者室の寺原達也室長に來校いただき、生徒たちへ新聞社の歴史・業務内容・記者の心がまえなどを詳しく説明していただきました。


日 新 聞 2015年(平成27年)5月17日 日曜日 すーぱーワイド (22)

県 央

KENOU

記者の仕事学ぶ 宮崎第一中生が聴講

出前授業
学校に宮日が
やってくる



宮崎第一中1年生が記者の仕事などを学んだ「学校に宮日がやってくる」

「新聞社には営業、事務、総務などさまざまな職種があることを知って驚いた。いろいろなことに興味を持ち、見識を広げていきたい」と話していた。

「新聞社には営業、事務、総務などさまざまな職種があることを知って驚いた。いろいろなことに興味を持ち、見識を広げていきたい」と話していた。

今回は、生徒の進路決定や職業観醸成に役立てることなどを目的に同校が初めて開催した職業講話の1プログラム。元青年海外協力隊員などで組織する県海外協力協会、同市の県立看護大、ホテルマリックスから講師が訪れ、1年生計114人が聴講した。

宮崎日日新聞社が授業に記者などを派遣する「学校に宮日がやってくる」は16日、宮崎市の宮崎第一中(関紀洋校長、307人)であった。1年生54人が参加し、本社読者室の寺原達也室長から記者の仕事について学んだ。

寺原室長は宮崎日日新聞社の歴史や業務内容などを紹介。記者の心構えとして「何げない会話の中に記事のヒントがある。日ごろからいろいろな職業の方と親しくし、何事にも関心を持つことが大切」と説明した。

聴講した小山寛生君(13)は「新聞社には営業、事務、総務などさまざまな職種があることを知って驚いた。いろいろなことに興味を持ち、見識を広げていきたい」と話していた。

「新聞社には営業、事務、総務などさまざまな職種があることを知って驚いた。いろいろなことに興味を持ち、見識を広げていきたい」

「新聞社には営業、事務、総務などさまざまな職種があることを知って驚いた。いろいろなことに興味を持ち、見識を広げていきたい」